

<ニュース資料>



祈りの像
中村美津子 作

東方学院仏像彫刻・宗教画講座 第九回研究会員作品展

2009年6月15日(月)～21日(日)

インド大使館 地下ギャラリーにて開催

2009年5月25日

財団法人東方研究会・東方学院

財団法人東方研究会・東方学院(東京都千代田区外神田、理事長兼学院長:前田専學)では、実技講座部門である仏像彫刻講座・宗教画講座を開講し、今年23年目を迎えます。82歳から20歳の40人の研究会員(受講生)がお互いに助けあいの心、分かちあいの心を持って、ともに仏教美術の実技を学んでいます。当講座では隔年で研究会員作品展を開催し、第9回目を迎えました(入場無料)。



薬師如来坐像
中谷誠志 作



普賢菩薩
早乙女美智子 作

今年もインド大使館のご厚意で、新たに建て替えられたインド大使館の地下ギャラリーを会場に、6月15日(月)～21日(日)の期間、その無垢な空間で約90点の仏像彫刻・宗教画を展示します。また、初日15日の午後3時には、東方学院実技部門の南インド古典音楽講座の協力で、ヴィナーという楽器を使った南インドの古典音楽演奏会も開きます。

当講座の初代講師 西村公朝(仏師・僧侶、1915～2003)はその講義のなかで、

- すべての自然物の中には、それぞれの仏がおられる、その姿を探求すること
- どういうお姿をされているか、それを楽しみながら彫り出して来る
- 仏像は、如来・菩薩・明王・天部の4種類にわけられ、いずれも「慈悲」を表わしておられるが、如来は「慈」の厳しい愛情、菩薩は「悲」のやさしい愛情、明王は衆生を救う「必死」の形、天部は仏を邪魔するものと戦う形を表わしていると述べています。

研究会員は、創作の対象となる自然の素材に正面から向き合い、つつましく、こつこつと、楽しみながら彫り続けています。ある会員は、「それぞれの仏様が木の中から出てきて戴いたと感謝しています」と仏像を彫る楽しさを言葉にしています。

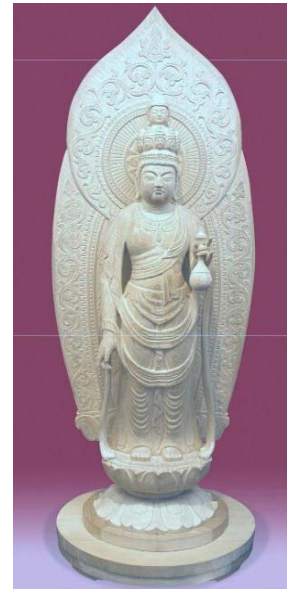
ひとつひとつの作品に、それぞれの仏への思慕が表現されているようです。

ぜひ、この機会にご高覧賜りたくご案内申し上げます。

【開催概要】

東方学院仏像彫刻・宗教画講座
第九回研究会員作品展

日 時：2009年6月15日（月）～21日（日）
午前10：30～午後6：00
（初日は正午12：00に開場、
最終日は午後4：30まで）
場 所：インド大使館 地下ギャラリー
東京都千代田区九段南2-2-11（千鳥ヶ淵）



十一面観音菩薩像
溝邊了恵 作

※会場には駐車場のご用意はありません

主 催：東方学院仏像彫刻講座・宗教画講座研究会員
協 力：南インド古典音楽講座
後 援：財団法人東方研究会・東方学院
展覧数：約90点（出品者数34名、講師含む）

<指導講師>

西山 多寿子（女子美術大学講師）
小田谷 史弥（修復工房東京文化財修復所主宰・仏像彫刻家）
菅沼 荘二郎（菅沼アトリ工主宰・画家<現代絵画>）

※財団法人東方研究会・東方学院は哲学者、宗教学者であった中村元（1912～1999）によって創立され、広く東洋の文化・思想の普及につとめる活動をしています。
（財団の概要についてはホームページ <http://www.toho.or.jp> をご参照ください）

<作品画像のお貸出し・本資料に関するお問い合わせ先>

財団法人東方研究会・東方学院 事務局

TEL. 03 (3251) 4081 / FAX. 03 (3251) 4082 / E-mail: gakuin@toho.or.jp

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2 共和ホームズ4階

または 広報担当：スポンタネアティ ^{ふえき} 笛木 敬代

TEL & FAX. 03 (5912) 6621 / E-mail: fuetree@ybb.ne.jp

※お手数をおかけしますがご取材・ご掲載を賜ります際にはご一報ください。